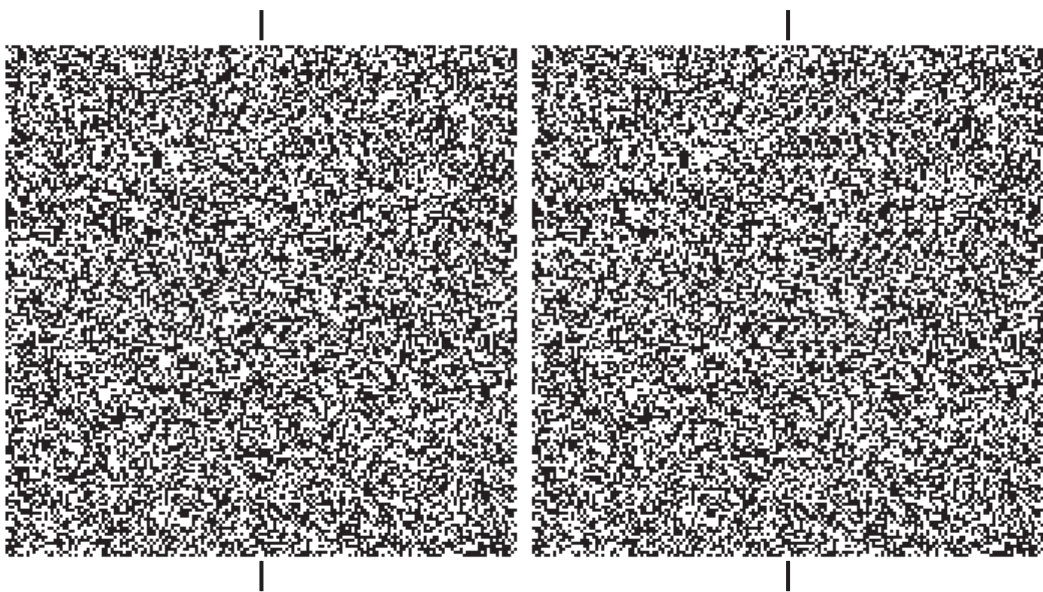


人間科学 研究

第33卷 第2号・第34卷 第1号 合併号

2021年3月



人間科学研究投稿規程

- 論文等の著者は本学術院教員（助手・非常勤講師等を含む）、人間総合研究センター招聘研究員、大学院人間科学研究科学生（科目等履習生を含む）、および人間科学学術院学術誌編集委員会（以下「編集委員会」という。）が認めたものとする。但し、本学術院教員（助手・非常勤講師等を含む）との共同研究者は著者に加えることができる。
- 大学院人間科学研究科学生および同科目等履修生が、単独で投稿する際は、本学術院教員の推薦書を併せて提出する。
- 論文等の種類は以下のものとする。
 - ① 「原著論文」：理論的・実証的な研究成果で、新規性、独創性、有用性があるもの。
 - ② 「研究ノート」：緊急性の高い研究報告、あるいは萌芽的発想に立つ研究。
 - ③ 「資料」：研究の基礎的材料や情報を提供する資料的価値のあるもの。
 - ④ 「総説」：最近の学術的知見やその成果を総合的に論述したもの。編集委員会が執筆依頼する場合もある。
 - ⑤ 「書評」：編集委員会が書籍ならびに評者を選定・依頼する。
 - ⑥ 「研究室だより」：各研究室の研究・教育内容を紹介し、最近の研究・教育業績等を報告する。毎号各学科の教員に編集委員会が依頼する。
 - ⑦ 「特別寄稿」：編集委員会で執筆者を選定・依頼する。
- 原著論文、研究ノート、資料、総説については、原稿提出期限は、編集委員会が定めた日とし、投稿された論文を集めて査読を行い、編集委員会の議を経て掲載する。その他の書評、研究室だより、特別寄稿等は査読を行わず、編集委員会の議を経て掲載する。補遺号には定年退職教員プロフィール、修士論文要旨、博士論文要旨および人間総合研究センター主催のシンポジウムの要旨等を掲載する。
- 他誌に発表された論文等は掲載できない。
- 原著論文、研究ノート、資料は、原則として、早稲田大学の「生物実験安全管理規程」「人を対象とする研究に関する倫理規程」「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する規程」「ヒトES細胞の使用に関する規程」の審議に該当する研究については各々の指針に沿ったものとする。
- 使用言語は日本語または英語とする。
- 原稿は、原著論文、研究ノート、資料、総説、書評等の別を明記し、オリジナル1部、コピー2部、および電子ファイルを提出する。
- 原著論文と特別寄稿の刷り上がりは12ページ、邦文は24,000字以内とし、英文は12,000語以内とする（要旨・図表・写真・文献含む）。研究ノート、資料、総説は6ページ、邦文は12,000字以内とし、英文は6,000語以内とする（同上）。書評並びに研究室だよりは2ページ、邦文は4,000字以内とし、英文は2,000語以内とする。
- 原稿は横書きとし、ワープロ等で印字されたものとする。
- 挿入原稿は、直接印刷できるようなものとする。図表には、それぞれ必ず通し番号とタイトルをつける。図表の挿入箇所は、本文原稿に指示する。
- 原稿提出の際、1ページ目に題名、英文題名、著者名、所属を記入し、2ページ目に300語以内の英文要旨（本文が英文の場合は600字以内の邦文要旨）、要旨の下にkey wordsを5つ以内列挙し、3ページ目から本文を記載する。

英文については、本文、英文要旨とも投稿前に英文校閲を必ず受けること。
- 原稿はA4版横書き、ページの構成は、邦文は23字×43行×2段組み、英文は43行×2段組みとし、ワープロ等で印刷されたものとする。フォントサイズは、邦文の論文・英文の論文ともに10ポイントとする。
- 博士論文要旨は、刷り上がり2ページとする。修士論文要旨は、刷り上がり1ページとする。シンポジウム要旨等は、刷り上がり1ページとする。
- 引用番号は引用順とし、文献番号を本文の右肩につける。雑誌は、著者氏名：論文題目、雑誌名巻：最初ページ最終ページ（通巻ページ）、発行年（西暦）の順に書く。単行本は、著者氏名：書名、巻数、版数、発行者、発行地、発行年、引用頁を記載する。文献名の省略は原則として関連領域のそれに従う。編著よりの引用は著者名のほか編者名を記す。引用・参考文献、本文中の見出しについては別に定める引用書式細則に従うものとする。
- 校正は、著者が一校まで行うものとする。校正時には原則として訂正を認めない。
- 別刷りは50部まで無料とし、それ以上は本人負担とする。
- 特別寄稿文（定年等の退職教員のプロフィールを含む）、博士学位論文・修士論文要旨、人総研シンポジウム抄録等は補遺（Supplement）に掲載する。
- 本誌に掲載された著作権は原則として著者本人に帰属する。また、編集委員会は本誌掲載原稿の第一次刊行権を有し、本誌版下は編集委員会に帰属する。著者による本誌掲載形態での再録・公開は禁止する。著者は本誌掲載原稿の単行本への再録およびWeb上での公開ができる。再録・公開の際には、本誌掲載原稿である旨を明記する。
- 18条の規定に拘わらず、著者は、著作権のうち、以下の各号について、その行使を、あらかじめ許諾によって、編集委員会に委ねるものとする。
 - (1) 掲載論文等を国立情報学研究所の「研究紀要ポータルシステム」に登録および公開する権利
 - (2) 掲載論文等を「早稲田大学リポジトリ」に登録および公開する権利
- 19条の規定に拘わらず、著者は、自らの著作物である掲載論文等について、編集委員会が前条(1)、(2)の権利を行使することに対し許諾を与えないことができる。その場合、著者は、当該論文等が掲載される本誌の刊行以前に、その旨を文書により、編集委員会に申し出るものとする。

附則 本規定は、2004年11月17日から施行する。

附則 本規定は、2010年1月27日から施行する。

附則 本規定は、2011年10月1日から施行する。

附則 本規定は、2012年1月1日から施行する。

附則 本規定は、2012年12月19日から施行する。

附則 本規定は、2015年12月16日から施行する。

附則 本規定は、2019年1月23日から施行する。

附則 本規定は、2019年11月13日から施行する。

附則 本規定は、2020年9月16日から施行する。

編集後記

人間科学研究の第33巻第2号・第34巻第1号の合併号をお届けします。今回は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、例年通り9月に発行することができなかつたため、巻をまたぐ合併号となりました。この間、人間科学学術院執行部の交代にともなう学術誌編集委員会メンバーの入れ替わりもあったため、新旧学術誌編集委員会の合作でもあります。大学を取り巻く内外の状況が大きく変わりつつある現在、人間科学研究の役割や位置づけも変化していくことになるでしょう。編集作業のなかで日々模索しつつ、より良い紀要に育てていければと学術誌編集委員会一同切に願っています。引き続き、ご支援をお願いいたします。

2021年3月吉日

(学術誌編集委員会委員長 古山 宣洋)

表紙について

縦書きと横書きを組み合わせた題字は、異分野・異文化が「学」を要として結びつき展開する人間科学を象徴している。また、中央部に配置されたランダムドットからなる2つの正方形は、それぞれを両眼で観察すると一つの立体が浮かび上がるステレオグラムになっており、人間科学における学の融合と新しい価値の創造を表す。ここで立体視されるのは、本誌の前身であり、1988年から2004年まで発行された人間総合研究センター機関誌『ヒューマンサイエンス』表紙を飾る、「踊る人」のモチーフである。『ヒューマンサイエンス』に記載された説明によれば、「踊る人」は躍動する人間そのものであると同時に「人間によって記録された人間」であり、言わば「観察」と「記録」という人間による科学的営みそのものを自己言及的に表現していると読み取ることができる。この「踊る人」を、人間科学学術院のスクールカラーであるエメラルドグリーンを使用して裏表紙いっぱいに描き、「踊る人」に重なるコンテンツ——各論考——の飛躍の願いを込めた。

(三嶋 博之)

人間科学研究 第33巻 第2号・第34巻 第1号 合併号 2021年

発行日 2021年3月18日

発行人 三嶋 博之

発行所 早稲田大学人間科学学術院

埼玉県所沢市三ヶ島2-579-15

〒359-1192 電話 04-2947-6849

印刷所 社会福祉法人東京コロニー

コロニー東村山印刷所

東京都東村山市秋津町2-22-9

〒189-0001 電話 042-394-1113



www.waseda.jp/jfhsm

Vol.33, No.2

Senior Dean: Hiroshi FUJIMOTO
Chief Editor: Masayuki KASHIWAGI
Editorial Board: Tadashi ASADA, Tomoki HARA, Tatsunori MATSUI, Kaneo NEDATE, Koichi NEGAYAMA, Michikazu ONO, Shinichi SAKAKIBARA, Masayuki YOKOSAWA

Vol.34, No.1

Senior Dean: Hiroyuki MISHIMA
Chief Editor: Nobuhiro FURUYAMA
Editorial Board: Naoto HIGUCHI, Qun JIN, Masaki KAKEYAMA, Norihiko KAWATE, Shutaro KOYAMA, Akito MIURA, Mikimasa OMORI, Ryuju SATOMI, Eriko SUGIMORI, Masayuki YOKOSAWA

CONTENTS

[Vol. 33, No. 2]

Original Papers

Jens Ostwald "On the Early History of the Word Freitod" 187
Yasunori Nakamura, Chiharu Kogo "Exploring a Reduction Model of Self-Handicapping in Adult Students Learning Through Correspondence Courses" 205
Erika Tsukamoto, Yasufumi Oosono, Michikazu Ono "The correlation between emotional labor, health status, and job satisfaction among care workers at day-care homes for older adults" 215
Aram Kwon "Class Identification and Intra-generational Income Mobility: An Empirical Analysis" 225
Yuki Hirahara "Contributing Factors and Consequences of Widening Economic Disparity in the Tokyo Metropolitan Area" 237
Reiko Osu, Rikako Hayakwa, Takayuki Koga, Kento Hirayama, Yousuke Egawa "Relation between sports injuries and motor adaptation ability - preliminary study -" 249
Misaki Kato, Yui Horikawa, Shunsuke Nonaka, Kaori Minami, Rui Hashimoto, Hironori Shimada "The effect of functional aspects of assertive behavior on adaptation in undergraduate and graduate students" 257

Research Note

Yuko Kawakami, Chiharu Kogo "Scaffolding Preliminary Explanations Affect Critical Thinking in Team-Based Learning" 269

Data

Yuto Honoki, Siqing Guan, Mana Oguchi, Toru Takahashi, Yusuke Nitta, Nozomi Tomita, Hiroaki Kumano "A method for measuring voluntary attention control with event-related potential P300" 279

Review

Ayumi Umeda, Tomu Ohtsuki "A review of research on understanding and preventing mind wandering" 287

[Vol. 34, No. 1]

Original Papers

Tomonori Sano, Ryota Murano, Macky Kato, Hiroko Takenaka "Analysis on "human tower" made of humans as building component." 1

Data

Shun Nakamura, Hiroki Nakanishi, Yukinaga Nishihara, Natsumi Maeda, Masaki Sano, Nobuyuki Jincho, Atsushi Saito "Prototyping and Evaluating VR Teaching Material on Foreign Agriculture in Agricultural High School" 13

Seminar Communication

Yoshitaka Ikeoka 19
Mamoru Iwabuchi 21

Report of the forum "Current Topics in Human Sciences"

Shuri Marui 23
Yoko Aoki 25
Hiromi Nishioka 27
Wu Bo 29

目次

【第33巻第2号】

原著論文

オストヴァルト・イエンス "On the Early History of the Word Freitod" 187
中村康則、向後千春 「通信教育課程で学ぶ社会人学生のセルフ・ハンディキャッピング緩和モデルの検討」 205
塚本恵里香、大園康文、小野充一 「通所介護事業所における介護職員の感情労働と健康状態および職場満足度との関連」 215
コン・アラン 「世代内所得移動が階層帰属意識に与える影響」 225
平原幸輝 「首都圏における格差拡大の要因とその帰結」 237
大須理英子、早川梨香子、古賀敬之、平山 健人、江川 陽介 「アスリートの外傷と運動学習能力の関係に関する予備的検討」 249
加藤海味、堀川柚、野中俊介、南佳織、橋本壘、嶋田洋徳 「大学生における主張行動の機能的側面が適応状態に及ぼす影響」 257

研究ノート

川上祐子、向後千春 「チーム基盤型学習における足場かけの事前解説の提示が批判的思考態度に及ぼす効果」 269

資料

朴木優斗、管思清、小口真奈、高橋徹、仁田雄介、富田望、熊野宏昭 「事象関連電位 P300 を用いた能動的注意制御機能の測定法」 279

総説

梅田亜友美、大月友 「マインドワンダリングの理解と制御に関する研究動向」 287

【第34巻第1号】

原著論文

佐野 友紀、村野 良太、加藤 麻樹、竹中 宏子 「人でつくられる「人間の塔」に関する構造物としての工学的分析」 1

資料

中村駿、中西啓喜、西原是良、前田菜摘、佐野雅規、神長伸幸、齋藤篤 「農業高校における海外農業学習用VR教材の試作と評価」 13

研究室だより

人間環境科学技術家族社会学研究室 池岡義孝 19
健康福祉科学科生活支援工学研究室 巖淵 守 21

「人間科学研究交流会」報告

第48回 丸井朱里 23
第49回 青木洋子 25
第50回 西岡裕美 27
第51回 武 博 29